

青島開発計画（道路）



膠州湾高速道路

[借款概要]

| | |
|---------|---------------------|
| 承諾額/実行額 | 8,800百万円 / 8,800百万円 |
| 借款契約調印 | 1991年3月 |
| 借款契約条件 | 金利2.5%、返済30年（据置10年） |
| 貸付完了 | 1996年4月 |

[事業概要]

青島市街地と膠州湾を挟んだ黄島地区とを連絡する膠州湾沿いの高速道路を建設することにより、黄島地区の開発を推進し良好な投資環境を醸成すると共に、青島市街地の出入口の道路に見られる慢性的な渋滞の緩和を図るもの。

[評価結果]

本事業により、青島第8埠頭から黄島地区の管家楼に至る総延長約70km（4車線）の膠州湾高速道路及びこれに関連する約20ヶ所の橋梁、並びにインターチェンジ、料金所が建設された。

本事業の実施により、膠州湾高速道路の青島市街地と黄島地区間の年間平均交通量は事業完成前年の1994年の約7,500台/日に対し、2001年には約22,000台/日と約3倍に増加した。また、青島から黄島までの所要時間は、陸上経由またはフェリー経由で2時間以上要していたのに対し、本事業完成後は約45分と大幅に短縮している。

青島市と黄島地区の工業生産高を見ると、1994年から98年にかけて、青島市では1.4倍、黄島地区では2.6倍、さらに2000年には4.3倍と各々伸びている。特に黄島経済開発区への外国投資は本事業完成後年々増加しており、本事業による交通インフラの改善が貢献したものと評価される。

維持管理体制については、管理者・技術者のレベルも高く特段の問題はない。